

# 事業者意識調査結果（速報版）

## 1. 調査の概要

### （1）調査目的

一般廃棄物処理基本計画を策定するにあたり、廃棄物処理に対する事業者の意向を把握し、今後の廃棄物処理体制の構築に役立てることを目的としました。

### （2）調査の設計と回収結果

調査地域	: 蕨市、戸田市の全域
調査方法	: 郵送による配布、郵送・Webによる回収
調査期間	: 令和5年10月23日～令和5年11月10日
抽出方法	: 蕨市、戸田市内の事業所から無作為に抽出
送付数	: 1,000件（蕨市：400件、戸田市：600件）
回収数	: 310件（蕨市：105件、戸田市：182件、その他：23件、全体回収率31.0%）

### （3）調査内容

問1	事業所の属性について
問2～問5	ごみの種類について
問6～問12	ごみの排出・処理方法について
問13～問19	ごみの減量・リサイクルのための取り組みについて
問20～問21	食品ロスについて
問22～問24	プラスチックについて
問25	市への要望について
問26	その他自由意見

## 2. 調査結果（単純推計）

割合の計算については、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

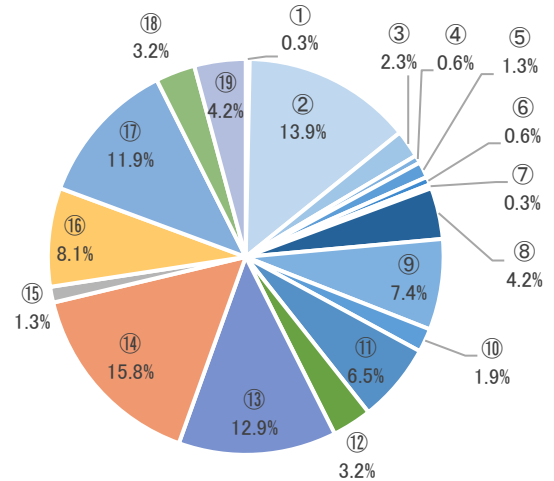
### 【事業所の属性について】

#### 問1 事業所の属性

##### ■業種（n=310）

「⑭金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業」が15.8%、「②建設業」が13.9%、「⑬卸売業、小売業（飲食食品以外）」が12.9%となりました。

属性	回答数
①農業、林業、漁業	1
②建設業	43
③製造業（食料品）	7
④製造業（医薬品、香料）	2
⑤製造業（プラスチック製品）	4
⑥製造業（木材・木製品、木製家具）	2
⑦製造業（繊維工業）	1
⑧製造業 （パルプ・紙・紙加工品、印刷・製本業）	13
⑨製造業（上記以外）	23
⑩電気・ガス・熱供給・水道業	6
⑪情報通信業、運輸業、郵便業	20
⑫卸売業、小売業（飲食料品）	10
⑬卸売業、小売業（飲食料品以外）	40
⑭金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業	49
⑮宿泊業、飲食サービス業	4
⑯療、福祉（介護等含む）	25
⑰サービス業	37
⑱その他	10
⑲無回答	13
合計	310



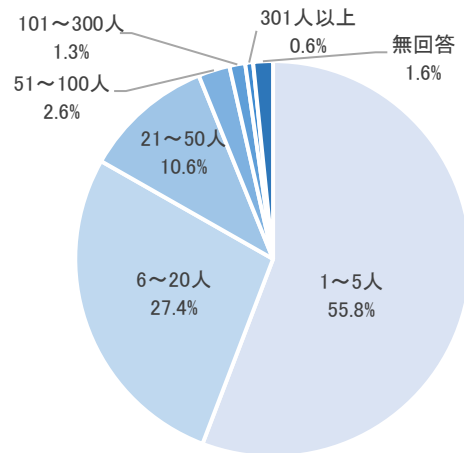
##### □その他回答

- ・ 顧問
- ・ 商店街
- ・ 市民の生涯学習事業

■従業員数 (n=310)

「1～5人」が55.8%と過半数を占め、「6～20人」が27.4%、「21～50人」が10.6%となっています。

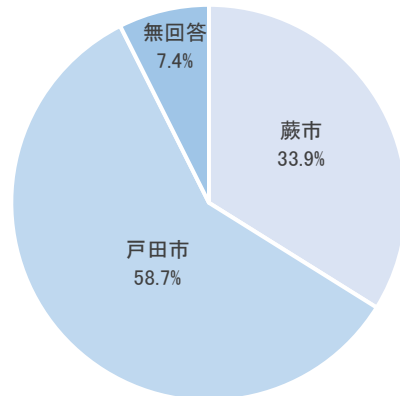
従業員数	回答数
1～5人	173
6～20人	85
21～50人	33
51～100人	8
101～300人	4
301人以上	2
無回答	5
合計	310



■所在地 (n=310)

「蕨市」が33.9%、「戸田市」が58.7%となり、概ね配布割合と同様となりました。

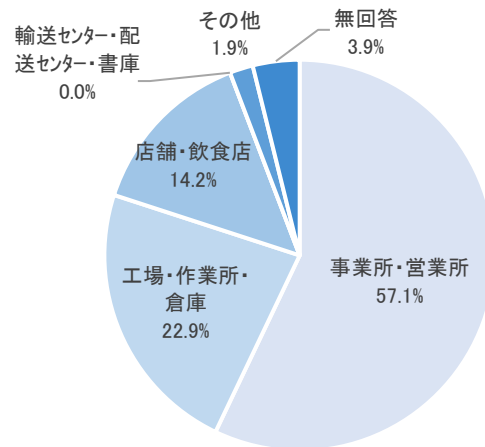
所在地	回答数
蕨市	105
戸田市	182
無回答	23
合計	310



■事業所形態 (n=310)

「事業所・営業所」が57.1%と最も多く、「工場・作業所・倉庫(事務所が併設されているものを含む)」が22.9%、「店舗・飲食店(事務所が併設されているものを含む)」が14.2%となりました。

事業所形態	回答数
事業所・営業所	177
工場・作業所・倉庫 (事務所が併設されているものを含む)	71
店舗・飲食店 (事務所が併設されているものを含む)	44
輸送センター・配送センター・書庫	0
その他	6
無回答	12
合計	310



□その他回答

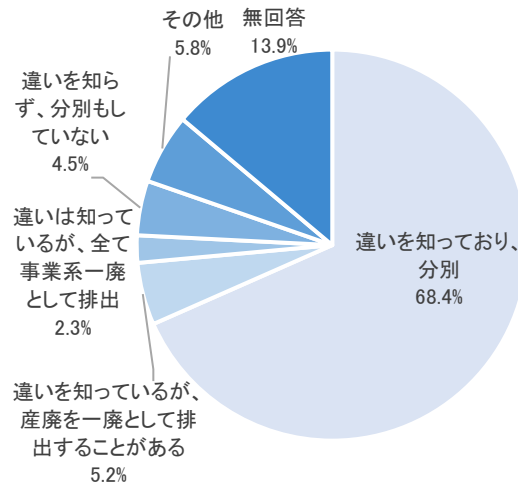
・商店街

【ごみの種類について】

問2 産業廃棄物と事業系一般廃棄物の違いについて (n=310)

「違いを知っており、分別して排出」が68.4%と過半数を占めている一方で、「違いを知らず、分別もしていない」は4.5%に留まりました。また、産業廃棄物と事業系一般廃棄物の違いを知っているが分別をしていない事業者は7.5%となりました。その他の回答としては、廃棄物はすべて産業廃棄物または家庭ごみとして排出しているという回答がありました。

違いについて	回答数
違いを知っており、分別して排出	212
違いを知っているが、廃プラスチックなどの産業廃棄物を一般廃棄物として排出することがある	16
違いは知っているが、分別せずに、全て事業系一般廃棄物として排出	7
違いを知らず、分別もしていない	14
その他	18
無回答	43
合計	310



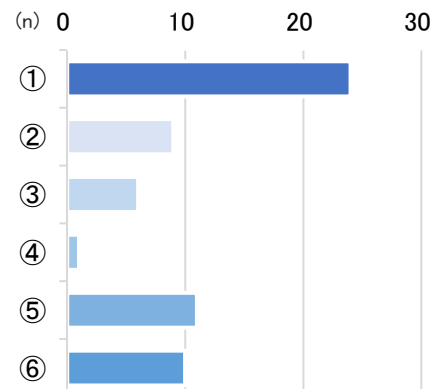
その他回答

- ・廃棄物は発生しない
- ・廃棄物はすべて産業廃棄物/家庭ごみとして排出している

問3 (問2で産業廃棄物と事業系一般廃棄物を分別していない事業者) 事業系一般廃棄物と産業廃棄物を分別していない理由【複数回答】(n=55)

「事業系一般廃棄物と産業廃棄物の違いが分からない」が43.6%を占め、次いで「事業系一般廃棄物と産業廃棄物を分けるのが負担、分けることが難しいごみが多い」が16.4%、「事業系一般廃棄物のピンク色の指定袋に入っていれば産業廃棄物でも回収される」が10.9%となりました。金額面や労力面よりも、両者の違いが正確に分からない事業者が多いことが分かります。

分別しない理由	回答数	割合
①事業系一般廃棄物と産業廃棄物の違いが分からない	24	43.6%
②事業系一般廃棄物と産業廃棄物を分けるのが負担、分けることが難しいごみが多い	9	16.4%
③事業系一般廃棄物のピンク色の指定袋に入っていれば産業廃棄物でも回収される	6	10.9%
④産業廃棄物として排出するとコストがかかる	1	1.8%
⑤その他	11	20.0%
⑥無回答	10	18.2%



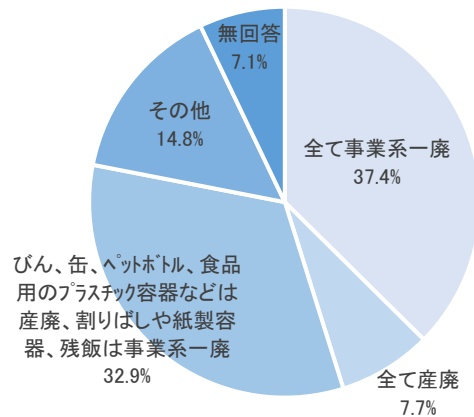
その他回答

- ・家庭ごみとして排出している
- ・少量のため

#### 問4 従業員が排出したごみの排出方法 (n=310)

「全て事業系一般廃棄物として排出」が37.4%を占め、次いで「びん、缶、ペットボトル、食品用のプラスチック容器などは産業廃棄物、割りばしや紙製容器、残飯は事業系一般廃棄物として排出」が32.9%となっています。その他の回答としては、家庭ごみとして処理している、各自で処理してもらっているという回答が多くありました。

排出方法	回答数
全て事業系一般廃棄物として排出	116
全て産業廃棄物として排出	24
びん、缶、ペットボトル、食品用のプラスチック容器などは産業廃棄物、割りばしや紙製容器、残飯は事業系一般廃棄物として排出	102
その他	46
無回答	22
合計	310



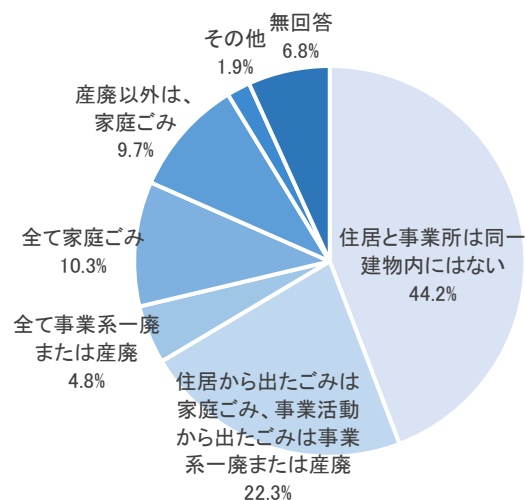
□その他回答

- ・家庭ごみとして処理している
- ・各自で処理してもらっている
- ・びん・缶・ペットボトルは自動販売機設置事業者が回収している

#### 問5 住居・事業活動から出るごみの排出方法 (n=310)

「住居と事業所は同一建物内にはない」が44.2%を占め、次いで「住居から出たごみは家庭ごみ（生活系一般廃棄物）、事業活動から出たごみは事業系一般廃棄物または産業廃棄物」が22.3%となりました。事業活動から排出されるごみを家庭ごみとして排出している事業者が約20%いることがわかります。

排出方法	回答数
住居と事業所は同一建物内にはない	137
住居から出たごみは家庭ごみ（生活系一般廃棄物）、事業活動から出たごみは事業系一般廃棄物または産業廃棄物	69
全て事業系一般廃棄物または産業廃棄物	15
全て家庭ごみ（生活系一般廃棄物）	32
産業廃棄物以外は、家庭ごみ（生活系一般廃棄物）	30
その他	6
無回答	21
合計	310



□その他回答

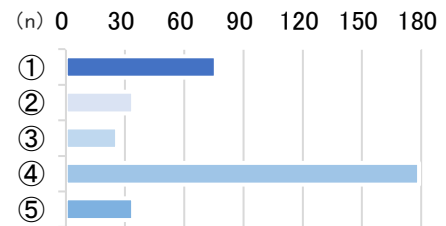
- ・廃棄物は発生しない
- ・書類は資源ごみとして排出している

**【ごみの排出・処理方法について】**

**問6 知っているリサイクルの仕組みや廃棄物の処理制度【複数回答】(n=310)**

「知っているものはない」が57.7%と過半数を占め、次いで「廃棄物再生事業者登録制度」が24.5%となりました。国や県の廃棄物処理やリサイクルの推進に関する制度の認知度が低いことが分かります。

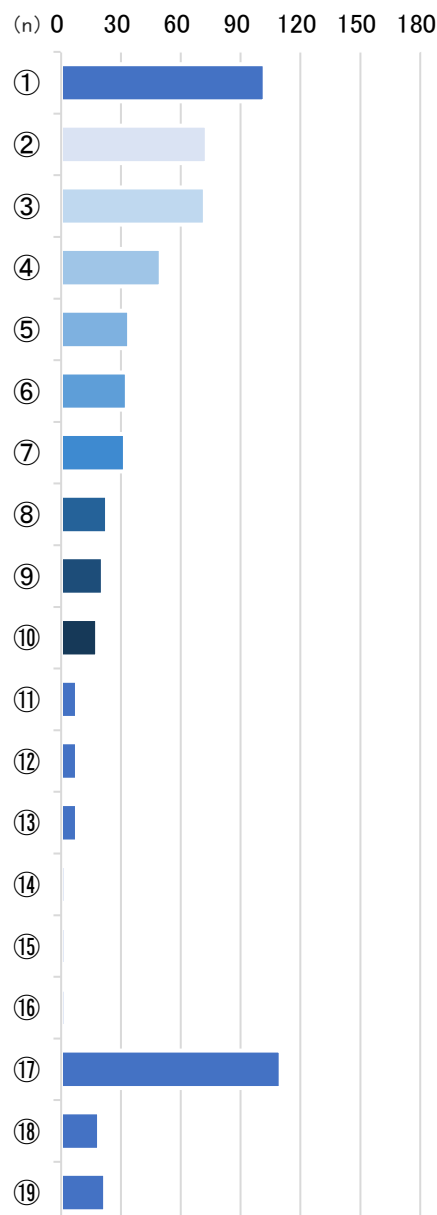
知っている仕組み・制度	回答数	割合
①「廃棄物再生事業者登録制度」	76	24.5%
②「優良産廃処理業者認定制度」	34	11.0%
③「登録再生利用事業者制度」	26	8.4%
④知っているものはない	179	57.7%
⑤無回答	34	11.0%



問7 排出している産業廃棄物【複数回答】(n=310)

「産業廃棄物は排出していない」が35.5%を占め、次いで「廃プラスチック類」が32.9%、「金属くず」が23.2%となりました。その他の回答としては、すべてリサイクルしている、感染性廃棄物などがありました。

産業廃棄物	回答数	割合
①廃プラスチック類	102	32.9%
②紙くず(建設業【工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたもの】・パルプ、紙又は紙加工品の製造業・新聞業・出版業・製本業・印刷物加工業)	73	23.5%
③金属くず	72	23.2%
④木くず(建設業【工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたもの】・木材、木製品、家具製造業・輸入木材卸売業)	50	16.1%
⑤ゴムくず	34	11.0%
⑥ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く)、陶磁器くず	33	10.6%
⑦廃油	32	10.3%
⑧汚泥	23	7.4%
⑨木製パレット	21	6.8%
⑩工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片	18	5.8%
⑪廃酸、廃アルカリ	8	2.6%
⑫繊維くず(建設業【工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたもの】・繊維工業【衣服、繊維製品製造業は除く】)	8	2.6%
⑬動植物性残さ(食品、医薬品、香料の製造業で原料として使用した固形状不要物)	8	2.6%
⑭燃えがら、鋳さい、ばいじん	2	0.6%
⑮動物系固形不要物(と畜場で処理した獣畜、食鳥処理場で処理した食鳥に係るもの)	2	0.6%
⑯動物のふん尿、死体(畜産農業)	2	0.6%
⑰産業廃棄物は排出していない	110	35.5%
⑱その他	19	6.1%
⑲無回答	22	7.1%



□その他回答

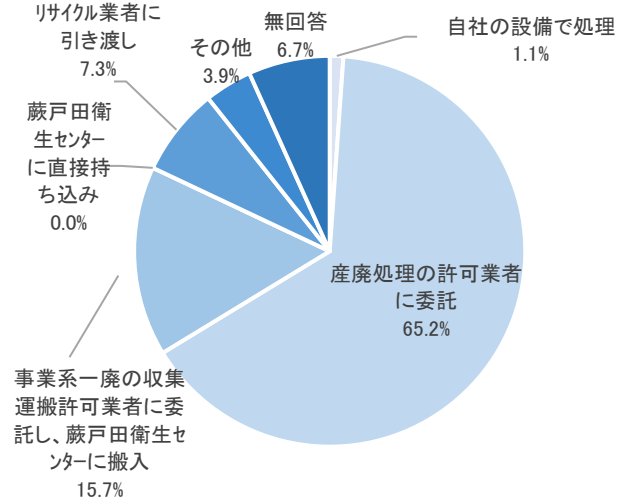
- ・すべてリサイクルしている
- ・感染性廃棄物(注射器・アンプル・ガーゼ等)
- ・バッテリー、ニカド電池、ニッケル水素電池、リチウムイオン電池



**問8 (問7で産業廃棄物を排出している事業者) 産業廃棄物の処理方法 (n=178)**

「産業廃棄物の許可業者に委託」が65.2%と過半数を占め、次いで「事業系一般廃棄物の収集運搬許可業者に委託し、蕨戸田衛生センターに搬入」が15.7%、「廃棄物再生事業者などのリサイクル業者に引き渡し」が7.3%となりました。産業廃棄物を、一般廃棄物として排出している事業者が約15%いることがわかります。

産業廃棄物の処理方法	回答数
自社の設備で処理	2
産業廃棄物処理の許可業者に委託	116
事業系一般廃棄物の収集運搬許可業者に委託し、蕨戸田衛生センターに搬入	28
蕨戸田衛生センターに直接持ち込み	0
廃棄物再生事業者などのリサイクル業者に引き渡し	13
その他	7
無回答	12
合計	178



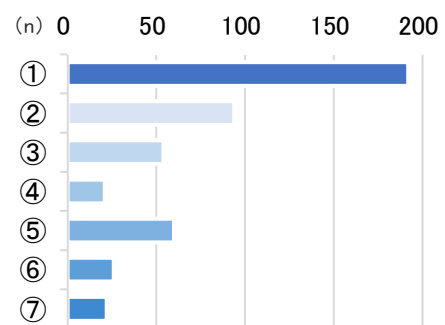
□その他回答

- ・家庭に持ち帰る
- ・ショッピングセンターに任せている

**問9 排出している事業系一般廃棄物【複数回答】(n=310)**

「紙くず(産業廃棄物以外のもの)」が61.9%を占め、次いで「食品くず(食べ残しや調理くず)」が30.3%、「事業系一般廃棄物は排出していない」が19.4%となりました。その他の回答としては、金属くず、鉄板、プラスチック系など、産業廃棄物に該当する回答が多くありました。

事業系一般廃棄物	回答数	割合
①紙くず(産業廃棄物以外のもの)	192	61.9%
②食品くず(食べ残しや調理くず。産業廃棄物の動植物性残さに該当しないもの)	94	30.3%
③木くず、花くず、草	54	17.4%
④繊維くず	21	6.8%
⑤事業系一般廃棄物は排出していない	60	19.4%
⑥その他	26	8.4%
⑦無回答	22	7.1%



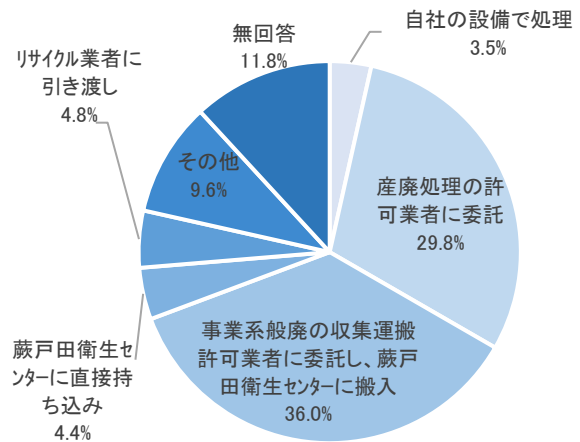
□その他回答

- ・毛髪
- ・金属くず
- ・鉄板
- ・プラスチック系

問10 (問9で事業系一般廃棄物を排出している事業者) 事業系一般廃棄物の処理方法 (n=228)

「事業系一般廃棄物の収集運搬許可業者に委託し、蕨戸田衛生センターに搬入」が36.0%、次いで「産業廃棄物の許可業者に委託」が29.8%となり、問8と同様に前述2項目の回答の割合が多いことが分かります。

事業系一般廃棄物の処理方法	回答数
自社の設備で処理	8
産業廃棄物処理の許可業者に委託	68
事業系一般廃棄物の収集運搬許可業者に委託し、蕨戸田衛生センターに搬入	82
蕨戸田衛生センターに直接持ち込み	10
廃棄物再生事業者などのリサイクル業者に引き渡し	11
その他	22
無回答	27
合計	228



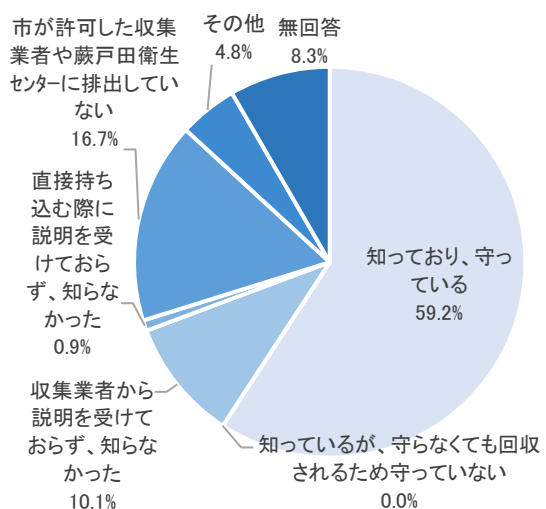
□その他回答

- ・集積所へ排出している
- ・家庭ごみとして排出している

問11 (問9で事業系一般廃棄物を排出している事業者) 蕨戸田衛生センター組合の受入基準について (n=228)

「知っており、守っている」が59.2%と過半数を占め、知らないと回答した割合は合わせて11%となりました。その他の回答としては、蕨戸田衛生センターに持ち込むことができることを知らなかった、細かくはわからないなどがありました。

受入基準	回答数
受入基準を知っており、守っている	135
受入基準を知っているが、守らなくても回収されるため守っていない	0
収集業者から説明を受けておらず、知らなかった	23
蕨戸田衛生センターに直接持ち込む際に説明を受けておらず、知らなかった	2
事業系一般廃棄物を市が許可した収集業者や蕨戸田衛生センターに排出していない	38
その他	11
無回答	19
合計	228



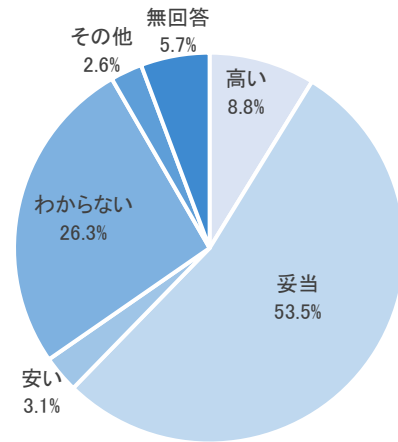
□その他回答

- ・蕨戸田衛生センターへ直接廃材を持ち込めることを知らなかった
- ・大まかな理解はしているが、細かくはわからない

問12 (問9で事業系一般廃棄物を排出している事業者) 処分手数料について (n=228)

「妥当であると感じる」が53.5%と過半数を占め、「高いと感じる」が8.8%、「安いと感じる」が3.1%となりました。処分手数料を高いと感じる事業者は、低いと感じる事業者より多いことが分かります。

処分手数料	回答数
高いと感じる	20
妥当であると感じる	122
安いと感じる	7
わからない	60
その他	6
無回答	13
合計	228



□その他回答

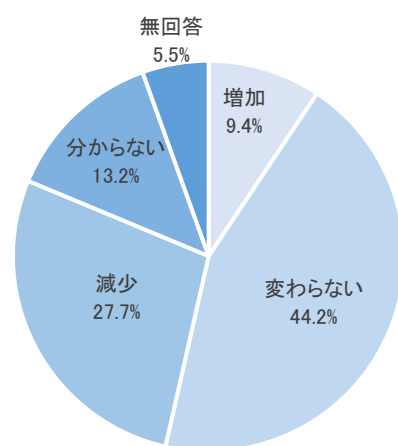
- ・この制度があることを知らない
- ・持ち込む手続きなどを一切知らないなので、どこに記載があるか周知してほしい

【ごみの減量・リサイクルのための取り組みについて】

問13 令和2年度～令和4年度の事業系一般廃棄物の排出量の傾向について (n=310)

「変わらない」が44.2%を占め、次いで「減少した」27.7%となりました。「増加した」は9.4%に留まりました。

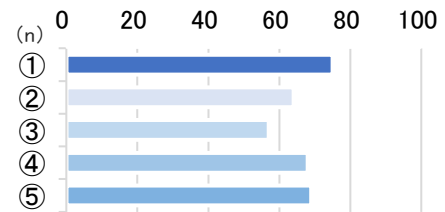
排出量の傾向	回答数
増加した	29
変わらない	137
減少した	86
分からない	41
無回答	17
合計	310



#### 問14 問13の理由【複数回答】(n=310)

「コロナ禍の影響があったため」が24.2%を占め、次いで「廃棄物を減らす取り組みを実施したため」が20.6%、「無料なら希望する」が18.4%となりました。その他の回答としては、わからない、ごみの量がそもそも少ないという回答が多くありました。

問13の理由	回答数	割合
①コロナ禍の影響があったため	75	24.2%
②廃棄物を減らす取り組みを実施したため	64	20.6%
③事業規模の変動があったため	57	18.4%
④その他	68	21.9%
⑤無回答	69	22.3%



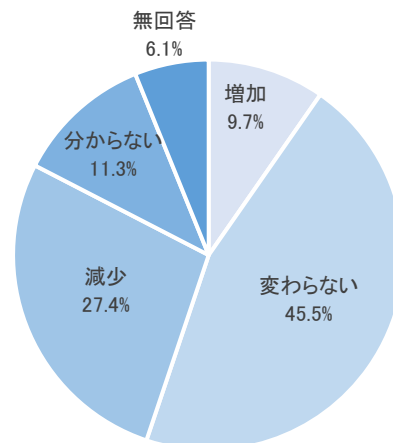
#### □その他回答

- ・事業内容に変わりがないため
- ・コロナの影響が少なかったため
- ・わからない
- ・ごみが出ない

#### 問15 今後5年間の事業系一般廃棄物の排出量の予測について (n=310)

「変わらないと見込んでいる」が45.5%を占め、次いで「減少すると見込んでいる」が27.4%となりました。「増加すると見込んでいる」は9.7%に留まりました。

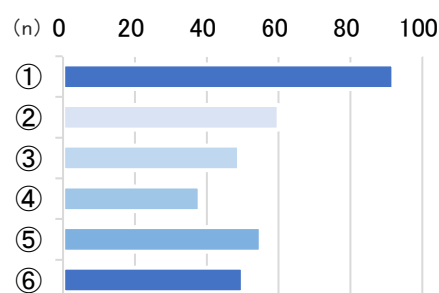
排出量の予測	回答数
増加すると見込んでいる	30
変わらないと見込んでいる	141
減少すると見込んでいる	85
分からない	35
無回答	19
合計	310



## 問16 問15の理由【複数回答】(n=310)

「ペーパレスなどのデジタル化を推進するため」が29.7%を占め、「事業規模の変動の見込みがあるため」が19.4%となりました。その他の回答としては、事業内容に変化がないためという回答が多くありました。

問15の理由	回答数	割合
①ペーパレスなどのデジタル化を推進するため	92	29.7%
②事業規模の変動の見込みがあるため	60	19.4%
③廃棄物を減らす取り組みを推進するため	49	15.8%
④コロナ禍の影響が落ち着いたため	38	12.3%
⑤その他	55	17.7%
⑥無回答	50	16.1%



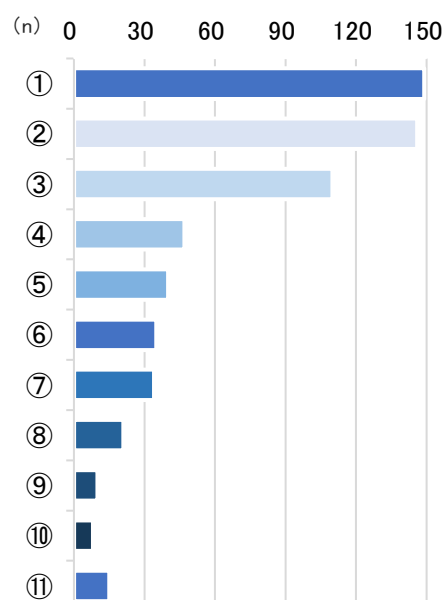
その他回答

- ・変わらない
- ・お客様の来店次第のため、予測不可能
- ・廃棄物の量を考えたことがない
- ・コロナ・インフルエンザなど、これまでと同じ又はそれ以上の感染対策をしながら診療にあたる必要があり、マスクや手袋など感染対策に関わる医療廃棄物は減少することはないのではないか

## 問17 ごみの減量・リサイクルに関して実施しているものについて【複数回答】(n=310)

「ペーパレスなどのデジタル化を推進している」が48.1%を占め、次いで「分別を徹底している」が47.1%、「事業所に資源(紙、びん、缶、ペットボトル等)の分別回収ボックスを設置している」が35.5%となりました。「特に取り組んでいることはない」は11.3%に留まりました。

実施していること	回答数	割合
①ペーパレスなどのデジタル化を推進している	149	48.1%
②分別を徹底している	146	47.1%
③事業所に資源(紙、びん、缶、ペットボトル等)の分別回収ボックスを設置している	110	35.5%
④事務用品にリサイクル品を使用している	47	15.2%
⑤過剰包装をしないようにしている	40	12.9%
⑥特に取り組んでいることはない	35	11.3%
⑦ごみ減量・リサイクルの推進について、従業員教育を行っている	34	11.0%
⑧ごみ・資源の発生量等を周知することで、コスト意識の定着を図っている	21	6.8%
⑨店舗や事業所等で食品トレーや紙パックなど容器包装の資源物を回収している	10	3.2%
⑩その他	8	2.6%
⑪無回答	15	4.8%



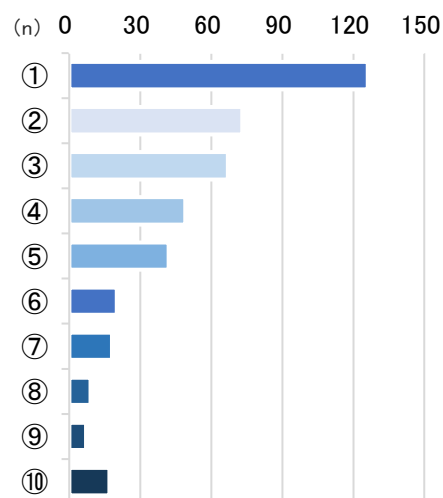
その他回答

- ・コピー用紙の裏紙を再使用している

### 問18 ごみの減量・リサイクルに関する課題について【複数回答】(n=310)

「特に課題はない」が40.6%を占め、ごみの減量・リサイクルに関する取り組みについては現状に満足している事業者が多いことが分かります。課題としては、約2割の事業者が「産業廃棄物と事業系一般廃棄物の分別ルールが分からない、分かりにくい」「分別するために手間がかかる」と回答しています。

課題	回答数	割合
①特に課題はない	126	40.6%
②産業廃棄物と事業系一般廃棄物の分別ルールが分からない、分かりにくい	73	23.5%
③分別するために手間がかかる	67	21.6%
④分別して保管する場所がない	49	15.8%
⑤リサイクルできるごみの量が少なく、まとまった量をリサイクル業者に引き渡せない	42	13.5%
⑥従業員への指導・意識啓発が難しい	20	6.5%
⑦減量やリサイクルするために費用がかかる	18	5.8%
⑧事業所に合ったごみの減量やリサイクルのための方法がわからない	9	2.9%
⑨その他	7	2.3%
⑩無回答	17	5.5%

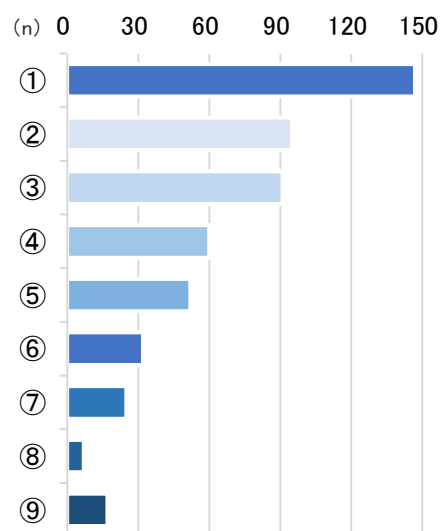


- その他回答  
・お客様次第である

### 問19 ごみの減量・リサイクルの促進に有効だと考える方法について【複数回答】(n=310)

「事業所から出るごみの減量や資源物の分別を徹底する」が47.4%を占め、次いで「環境への負荷が少ない製品を利用する」が30.6%、「製品の製造事業者がごみになりにくい製品を作る」が29.4%となりました。「特に有効だと考えられる方法はない」は8.1%に留まりました。

有効な方法	回答数	割合
①事業所から出るごみの減量や資源物の分別を徹底する	147	47.4%
②環境への負荷が少ない製品を利用する	95	30.6%
③製品の製造事業者がごみになりにくい製品を作る	91	29.4%
④行政が減量事例や分別方法、資源化等の情報の広報・啓発を強化する	60	19.4%
⑤製品の製造事業者が製品の回収・リサイクルまでの責任を持つ	52	16.8%
⑥収集業者がパンフレットやチラシにより情報を提供する	32	10.3%
⑦特に有効だと考えられる方法はない	25	8.1%
⑧その他	7	2.3%
⑨無回答	17	5.5%



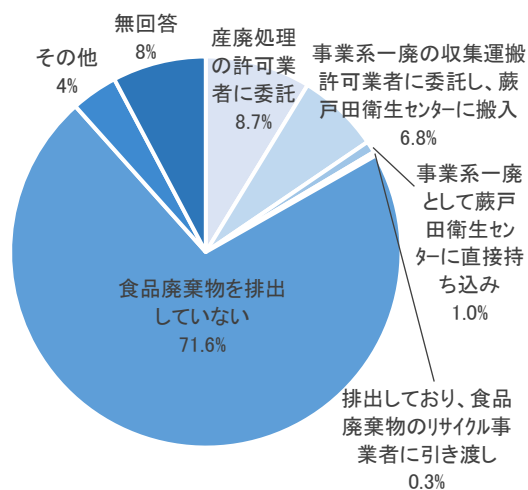
- その他回答  
・資源が混ざった状態で回収されても、分別できる体制を衛生センター側で構築すべきである  
・罰則を設ける

【食品ロスについて】

問20 食品廃棄物の排出・処理状況について (n=310)

「食品廃棄物を排出していない」が71.6%を占めています。食品廃棄物を排出している事業者の中では「排出しており、産業廃棄物処理の許可業者に委託している」が8.7%と最も多く、次いで「排出しており、事業系一般廃棄物の収集運搬許可業者に委託し、蕨戸田衛生センターに搬入している」が6.8%となりました。

食品廃棄物の排出/処理状況	回答数
排出しており、産業廃棄物処理の許可業者に委託している	27
排出しており、事業系一般廃棄物の収集運搬許可業者に委託し、蕨戸田衛生センターに搬入している	21
排出しており、事業系一般廃棄物として蕨戸田衛生センターに直接持ち込んでいる	3
排出しており、登録再生利用事業者(問6参照)などの食品廃棄物のリサイクル事業者に引き渡している	1
食品廃棄物を排出していない	222
その他	12
無回答	24
合計	310



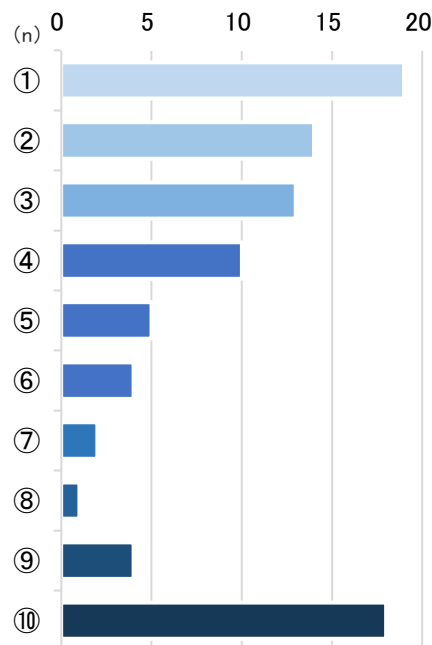
□その他回答

・家庭ごみとして排出している

問21 (問20で食品廃棄物を排出している事業者) 食品廃棄物の減量・リサイクルに関して取り組んでいることについて【複数回答】(n=64)

「取り組んでいることはない」が29.7%を占めており、無回答も含めて過半数が食品廃棄物の減量・リサイクルに向けた積極的な取り組みを実施していないことが分かります。取り組んでいることとしては、約2割の事業者が「賞味期限、消費期限の近い材料から使用している」「余剰生産や過剰在庫を防ぐための取り組みをしている」と回答しています。

食品廃棄物削減のための取り組み	回答数	割合
①取り組んでいることはない	19	29.7%
②賞味期限、消費期限の近い材料から使用している	14	21.9%
③余剰生産や過剰在庫を防ぐための取り組みをしている	13	20.3%
④賞味期限、消費期限の近い商品を安く販売している	10	15.6%
⑤規格外だが品質に問題のない商品を安く販売している、または販売を推進している	5	7.8%
⑥商品の「てまえどり」を消費者に呼び掛けている	4	6.3%
⑦食品廃棄物の堆肥化・飼料化を推進している	2	3.1%
⑧店舗での提供時に食べきりや3010運動を推進している	1	1.6%
⑨その他	4	6.3%
⑩無回答	18	28.1%



その他回答

- ・製造工程上でのロスで、本来の食品廃棄物ではない

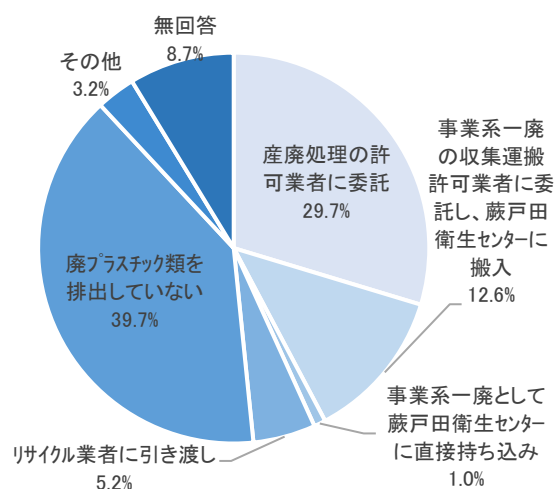


【プラスチックについて】

問22 廃プラスチック類の排出・処理方法について (n=310)

「廃プラスチック類を排出していない」が39.7%を占めています。廃プラスチック類を排出している事業者の中では「排出しており、産業廃棄物処理の許可業者に委託している」が29.7%と最も多く、次いで「排出しており、事業系一般廃棄物の収集運搬許可業者に委託し、蕨戸田衛生センターに搬入している」が12.6%となりました。

廃プラスチックの排出処理状況	回答数
排出しており、産業廃棄物処理の許可業者に委託している	92
排出しており、事業系一般廃棄物の収集運搬許可業者に委託し、蕨戸田衛生センターに搬入している	39
排出しており、事業系一般廃棄物として蕨戸田衛生センターに直接持ち込んでいる	3
排出しており、廃棄物再生事業者(問6参照)などのリサイクル業者に引き渡ししている	16
廃プラスチック類を排出していない	123
その他	10
無回答	27
合計	310



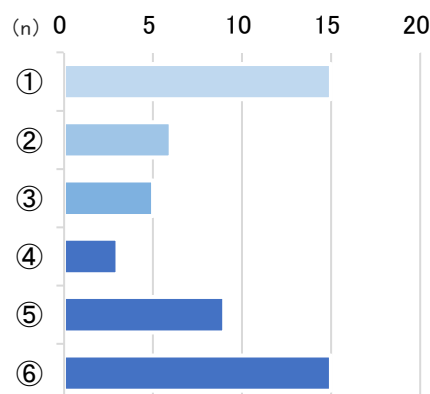
□その他回答

- ・家庭ごみとして排出している

問23 (問22で廃プラスチック類を排出している事業者) 廃プラスチック類を産業廃棄物として排出しない理由について【複数回答】(n=52)

「廃プラスチック類が、業種に関わらず産業廃棄物だと知らなかったから」が28.8%を占め、次いで「廃プラスチック類だけ分別することが負担である・難しいから」が11.5%、「製品の製造の過程で出る「廃プラスチック類」のみ産業廃棄物だと考えていたから」が9.6%となりました。

産業廃棄物として排出しない理由	回答数	割合
①廃プラスチック類が、業種に関わらず産業廃棄物だと知らなかったから	15	28.8%
②廃プラスチック類だけ分別することが負担である・難しいから	6	11.5%
③製品の製造の過程で出る「廃プラスチック類」のみ産業廃棄物だと考えていたから	5	9.6%
④梱包や包装に使用した「廃プラスチック類」のみ産業廃棄物だと考えていたから	3	5.8%
⑤その他	9	17.3%
⑥無回答	15	28.8%



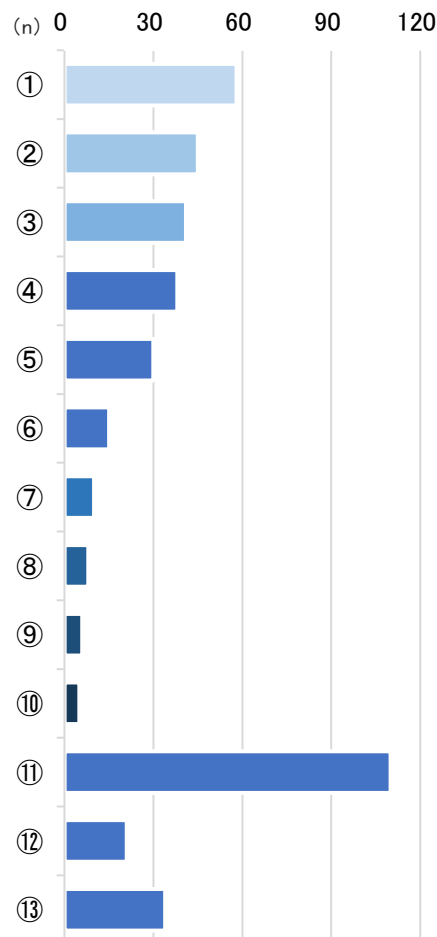
□その他回答

- ・量が少ないため

## 問24 プラスチック類の減量・リサイクルに関して実施しているものについて【複数回答】(n=310)

「取り組んでいることはない」が35.5%を占めています。取り組んでいることとしては、「過剰包装をしないようにしている」が18.7%と最も多く、次いで「製品に使用するプラスチック材料をできるだけ少なくしている」が14.5%、「プラスチックに代わる素材や製品がある場合は、そちらを使用している」が13.2%となりました。その他の回答として、製造工程上のロスの減少、購入店の回収BOXに入れているなどがありました。

実施していること	回答数	割合
②過剰包装をしないようにしている	58	18.7%
③製品に使用するプラスチック材料をできるだけ少なくしている	45	14.5%
④プラスチックに代わる素材や製品がある場合は、そちらを使用している	41	13.2%
⑤マイバッグやマイボトルの使用を消費者に呼び掛けている	38	12.3%
⑥廃棄するプラスチック類はリサイクル業者に処理を委託している	30	9.7%
⑦廃棄されたプラスチックをリサイクルした再生プラスチックや、植物由来の原料を含むバイオマスプラスチック、生分解性プラスチックを利用している	15	4.8%
⑧製品に使用するプラスチック素材の種類をできるだけ少なくしている	10	3.2%
⑨店舗や事業所等で使用済みプラスチック製品を回収している	8	2.6%
⑩プラスチック製品は、再使用や資源化しやすいように設計している	6	1.9%
⑪使い捨てプラスチック(スプーンやフォーク、ブラシ等)を有料化したり、希望者のみに配布したりしている	5	1.6%
①取り組んでいることはない	110	35.5%
⑫その他	21	6.8%
⑬無回答	34	11.0%



### □その他回答

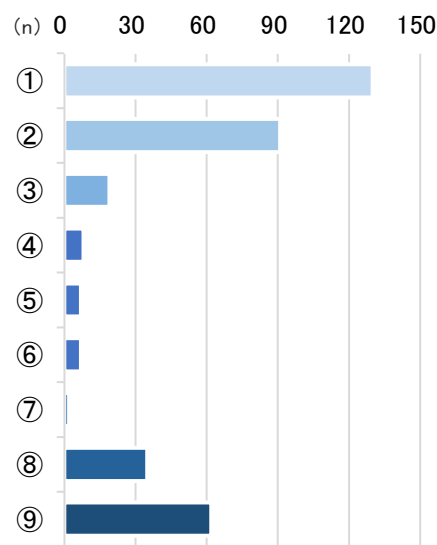
- ・プラスチック類を取り扱っていない
- ・製造工程上のロスの減少
- ・プリンターのインクカートリッジは購入電気店の回収BOXに入れている。

**【市への要望について】**

問25 ごみの処理や減量・リサイクルについて、市に要望することについて【複数回答】(n=310)

「きちんと分別され、少量であれば事業系廃棄物も市が回収するようにしてほしい」が41.9%を占め、次いで「事業系一般廃棄物の減量・リサイクルに関する情報提供をしてほしい」が29.4%、「事業系一般廃棄物の減量・リサイクル方法についてアドバイスがほしい」が6.1%となりました。

市への要望	回答数	割合
①きちんと分別され、少量であれば事業系廃棄物も市が回収するようにしてほしい	130	41.9%
②事業系一般廃棄物の減量・リサイクルに関する情報提供をしてほしい	91	29.4%
③事業系一般廃棄物の減量・リサイクル方法についてアドバイスがほしい	19	6.1%
④ごみの減量・リサイクルに取り組む事業者を認定してほしい	8	2.6%
⑤産業廃棄物の処理業者を紹介してほしい	7	2.3%
⑥従業員に対して研修等を実施してほしい	7	2.3%
⑦産業廃棄物の処理方法について相談したい	2	0.6%
⑧その他	35	11.3%
⑨無回答	62	20.0%



□その他回答

- ・産業廃棄物の許可申請書もっと簡単に取れるようにしてもらいたい
- ・ヤクザ家業の人にも個別に注意して欲しい
- ・家庭ごみと事業系ごみの分別が難しい
- ・パソコンなどの有料引き取りをしてほしい

## 【その他】

### 問26 自由意見

#### 【分別】

- ・粗大ごみの大きさが一辺 40 cmは小さすぎる
- ・家庭ごみの処理で町会によって異なる点があり、どちらが正しいのか周知して欲しい  
(可燃性ごみの中にプラスチック類も排出可能な地域と、不可能な地域がある など)

#### 【排出】

- ・事業所へ持ち込む際のルールが細かい(紙類はつづりひもを切らないといけないなど)
- ・弊社では紙のリサイクルを業者に処理をお願いしているが、持ち込み等による経費の掛からない方法を望む
- ・規模の小さい事業者は、金銭面や人員面で余裕がないため、家庭ごみと同じように出せる仕組みにして欲しい
- ・事業をやっている所は、規模が小さくても事業系一般廃棄物としてお金をかけて出さないといけないのか
- ・事業系ごみを家庭ごみとして排出している事業者も多いと感じる
- ・事業系ごみを家庭ごみとして出しても、事業者が回収してしまうのはよくないのではないか
- ・昔から再利用できる物は再利用し、鉄、アルミなど売れるものは売っている
- ・少しでもお金になる品は買取業者、その他はJBRC(リサイクル協力店)などに排出している

#### 【集積所】

- ・分別のカゴや網が汚い
- ・集積所のカゴはゴミの種類がわかるようにしてほしい
- ・ゴミ収集日以外の日の排出や、ネットの中に入れていない人などがいることで、カラスに荒らされている
- ・日本語以外の表示や大きくわかりやすい表示などがあれば防止策になるのではないか
- ・家庭ごみの回収日の早朝に、車で持ち逃げする集団をよく見かけるので、取り締まってほしい
- ・近所4世帯でゴミの当番を順番行う制度があり、生活に支障をきたしている

#### 【その他】

- ・アンケートについて、一般事業者が指定業者に依頼して処理している場合は、その項目のみで終了してほしい
- ・現状の市の問題点がわからないのでデータ、問題点、コストがかかる項目などの資料の同封があればよかった
- ・該当内容が少なく、役立つ回答でなく申し訳ない
- ・しっかり回収していただき助かっている
- ・ごみの減量、リサイクルについて、従業員全員、意識して取り組み、分別も今まで通りしっかり行う
- ・感謝